

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①多様な生徒の目標や課題に丁寧に対応し、学習効果を最大限に発揮できるカリキュラム・マネジメントの確立に学校全体で取り組む。 ②主体的・対話的で深い学びから社会で求められる資質・能力を育み、生涯にわたって学び続けることができるように指導する。	①生徒にとって効果的な学習の支援体制を充実させる。 ②生徒が興味・関心を持って参加したくなる授業を展開する。	①習熟度別授業の展開や少人数学習、チームティーチングや新たな支援方法を検討する。 ②授業研究等を活かし、工夫をした授業を行う。	①昨年度よりも効果的な支援を行うことができたか。 ②生徒が意欲的に参加し、学びたくなるような授業が行えたか。					
2	生徒指導・支援	①生徒活動を更に活性化させ、豊かな人間性や社会性を涵養する。 ②学校生活の中で、基本的なルールを守り、しっかりとした判断力と規律を守る意識を育て、自立した社会生活が出来るよう指導する。	①各活動において、生徒一人ひとりに役割を持たせ、活躍できる場を設ける。 ②組織的な教育相談体制を確立し、生徒一人ひとりに合った支援の充実を図る。	①行事への参加率を増やすと同時に、個々が活躍できる場を設け、行事の活性化に繋げる。 ②個々の課題解決に向け、引き続き組織的な指導・支援の充実を進めていく。	①各活動における生徒の活動状況の確認と、目標達成度の調査を実施する。 ②生徒の課題に対し、適切な指導・支援を行えたか。					
3	進路指導・支援	①幅広い進路選択に応えることができるよう、キャリア教育の充実を図り、進路支援体制を確立する。	①進路支援体制を充実させる。	①外部機関との連携を整理し、活用方法を生徒・教員にアナウンスする。	①希望の進路に向かって活動することができたか。					
4	地域等との協働	①地域との協働・連携による開かれた学校づくりを目指す。 ②中学校や地域への情報発信を活性化させ、定時制の存在意義の再認識を目指す。	①学校WEBサイトを活用し、学校行事等での情報発信を充実させる。 ②中学校をはじめとする地域への広報活動を充実させる。	①学校WEBサイトでの情報発信や、地域貢献デー、文化祭などの学校行事を通じて内容を充実させる。 ②中学校等へのアプローチ、学校説明会等の維持と充実。	①文化祭等での来場者の反応、PTAや学校運営協議会員の評価。 ②広報活動の活性化に伴う職員の負担増を少なくできたか。					
5	学校管理 学校運営	①社会から信用される学校づくりを推進し、事故・不祥事の防止を徹底する。 ②教職員の働き方改革推進のために職場の意識改革を図る。	①授業や部活動、学校行事などに職員が注力できる環境づくり。 ②業務の精選と効率化を進める。また職員室の整備を行う。	①業務量の均等化。業務内容を複数の職員が把握できるようにする。 ②効果を検証しながら検討を続ける。職員室については物品の更新や廃棄を進める。	①業務量の均等化や複数の職員による業務内容の把握が進んだか。事故が起きなかったか。 ②年度末に職員対象アンケート調査を実施。物品の整理が進んだか。					